

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



木枯らし1号と落葉



- 木枯らし1号とは、西高東低の冬型の気圧配置となり、その年初めて吹く北よりの(やや)強い風(季節風)です。

東京地方の木枯らし1号の基準

- 【期間】 10月半ば～11月末の間
- 【気圧配置】 西高東低の冬型の気圧配置で季節風が吹く
- 【風向】 東京の風向が西北西～北
- 【風速】 東京の最大風速が8m/s以上



- 東京地方と近畿地方でのみ気象庁が発表します。山梨版はありません。
- 平均発生日は11月7日です。
- 木枯らし1号が吹くと、落ちかかっているブドウやモモの葉が一掃され、本格的な冬へ歩みが早まるでしょう(写真)。

写真. 落葉の進んだモモ園(11月7日、笛吹市)
追記: 令和5年11月13日に気象庁は東京地方に木枯らし1号が3年ぶりに吹いたと発表しました。



秋に咲くサクラ



- 笛吹市の八代ふるさと公園には約300本のサクラ樹が植えられています。
- その中の一部の品種では現在、開花が見られます。
- ジュウガツザクラは、10月下旬と3月中旬の年2回、八重咲のややピンクの花が開花します(写真)。
- シキザクラは、10月中旬と3月下旬の年2回、一重咲きの白い花が開花します。
- モモでは、冬に備えて葉中で植物ホルモンのアブシジン酸が作られ、休眠に入ります。ところが台風や害虫の影響で早期落葉すると、アブシジン酸が作られないので極まれに秋に開花する場合もあるようです。
- 秋咲サクラは来春、秋以上に多くの花が開花します。



写真. ジュウガツザクラの開花(八代ふるさと公園、11月7日)